

連体修飾形式ヨウナ / ミタイナの解釈と交換可能性

言語学・応用言語学研究室 4年 1LT12129W 福嶋香奈

1. 問題提起

- (1) a. 麗火は、世間話をする{ヨウナ / ミタイナ}穏やかな口調でつづけた。
b. 畠山氏や大内氏の例にみられる{ヨウナ / ミタイナ}、登用と配置の巧妙さ、
...
- (2) a. 「なんかこういうことばかりしてる{ヨウナ / *ミタイナ}気がするな」
b. 似た{ヨウナ / *ミタイナ}例
c. 驚く{ヨウナ / *ミタイナ}出来事
- (3) **問題：どのようなときにヨウナ / ミタイナの言い換えができなくなるのか。**

2. 様態用法のヨウナからの言い換え

- (4) 一般化 1
様態の「A ヨウナ B」において、A の周辺の類似する部分をも含む「枠拡大」の機能が強いヨウナは、ミタイナへ言い換えることができない。
- (5) なにか必死に耐えている {ヨウナ / ミタイナ} 表情だった。
- (6) うちの家族にはハイヒールを履く {ヨウナ / *ミタイナ} モダンな女はいない。

3. 強調の用法で解釈できるヨウナ

- (7) 一般化 2
様態・比喩用法において、ヨウナが強調の意味で解釈できる場合には、ミタイナへ言い換えることができない
- (8) 雲をつかむ {ヨウナ / ミタイナ} 話 (安田 1996: 74)
- (9) a. 燃える {ヨウナ / *ミタイナ} 思い (安田 1996: 74)
b. 驚く {ヨウナ / *ミタイナ} 出来事

4. 内容説明の用法

- (10) 一般化 3
ヨウナが内容説明の用法で解釈されるとき、ミタイナへ言い換えることができない。
- (11) a. 英語で、中に物が収納できるような台のような物 (座れる {ヨウナ / *ミタイナ} 丈夫な台) は、なんと言いますか?
b. 納得できる {ヨウナ / *ミタイナ} 結果を神に求めることはできないと知って

いたのです。

5. 推量・婉曲の用法

(12) 一般化4

ヨウナが推量・婉曲の用法で解釈されるとき、ミタイナへ言い換えることができない。

- (13) a. イタリアという国、いまだに男女の役割分担が、意外としっかり分かれている {ヨウナ / *ミタイナ} 気がしてならないのだが…。
- b. 少し、精神的にもろい {ヨウナ / *ミタイナ} 気がします。
- c. あなたの側に原因がある可能性が高い {ヨウナ / *ミタイナ} 気がしますよ。

6. 引用後または文末のミタイナ

(14) 一般化5

ミタイナが引用後または文末にある「Yミタイナ」の形で、ミタイナが「一例を挙げるならば、言わばYだ」という姿勢で、先行談話において既出の概念Xの状態や程度性を叙述する機能」を持つとき、ミタイナをヨウナに言い換えることができない。

- (15) 「あー、買えたチケットとか思って(笑)すごく嬉しくて。生ブロードウェイ。もう、生チケット買ったぞミタイナ。」

7. 形式的にミタイナへの交換ができない場合

(16) 一般化6

「コソアド+格助詞ノ+ヨウナ」または枠拡大による例示の「トイウヨウナ」の型であるとき、ミタイナへの言い換えはできない

- (17) a. 「帰れ」トイウヨウナ暴言(森山 1995: 518(88))
- b. 太郎が来るトイウヨウナうわさには根拠がない。(森山 1995: 518(90))

参考文献

加藤陽子(2005)「話し言葉における発話末の「みたいな」について」『日本語教育』124: 43-52.

森田良行(2007)『助詞・助動詞の辞典』東京: 東京堂出版

森山卓郎(1995)「推量・比喩比況・例示-「よう/みたい」の多義性をめぐって-」『宮地裕・敦子先生古希記念論集 日本語の研究』493-526. 東京: 明治書院

安田芳子(1996)「連体修飾形式「ような」の意味・機能 -V ような Nの場合-」『言語科学研究: 神田外語大学大学院紀要』2: 65-79.